



留学生と語り合う No. 55

RKK ニュース (2014年春号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace



RKK 創立 15周年を迎えるに当たって RKK's 15th Anniversary

RKK 理事長 大田孝生

Takao Ohta, Chairman of RKK



RKKの創立は1999年4月ですから、早いもので今年は15周年を迎えることとなります。その新しい年度への抱負を述べる前に、前年度を振り返ってみたいと思います。

昨年のRKKは三つの絆(会員同士の絆、会員と留学生の絆、留学生同士の絆)づくりをモットーに地区交流会を活発化させ、留学生との1対1の交流をベースに日本語指導ほか各種の交流活動を展開し、多くの留学生から喜ばれました。これらの成果は過去15年の会員の弛まぬ努力の結果であると思います。

これから迎える新年度も今までに築いてきた1対1の留学生との絆を更に深め、拡げていくことを大きなテーマとしますが、最近の顕著な傾向である日本企業への就職支援に積極的に取り組むと共にRKKとしては就職後の社内の日本語、マナー、隣近所との付き合い方など日本の文化、習慣など幅広い交流・支援活動を推し進めたいと思います。

Since RKK was established in April of 1999, we are celebrating its 15th anniversary this year. Before expressing our goals of this year, I would like to look back on the previous year.

RKK has a motto of building three bonds; among members, between members and international students, and among international students. Under the motto, we have intensified the activities of area meetings and worked on our relations with students on a one-to-one basis through Japanese lessons and various activities. These activities have been appreciated by many students, and I'm sure these results are due to continuous efforts of RKK members for the past 15 years.

Following the achievement of the previous years, our main theme of this year will be further deepening and expanding the one-to-one bond with international students.

In addition, we would like to provide active support for the employment of international students to Japanese companies, which is the latest popular trend among students from overseas. RKK also intend to engage in broad supportive activities for international students who enter companies in Japan so that they could learn more Japanese culture and customs such as business Japanese, manners, relations with neighbors, and so on.

(Translated by Azusa Sugita)

お知らせ

RKK 通常総会および懇話会

期日: 5月6日(火、休日)
場所: かながわ県民活動センター R301
時間: 総会 13:00-14:00
懇話会 14:15-16:00
懇話会テーマ: 「RKK 創立 15周年にあたって—温故知新」

平塚七まつりのご案内

交流会と七夕見物を楽しみましょう
日時: 7月5日(土) 12:30-16:30
場所: 平塚市民活動センター(0463-21-7511)
JR平塚駅南口下車

留学生との交流

わたし ぶんかこうりゆう
私の文化交流

目標は二人展

にしちく 長久保都代美
西地区 大久保都代美

張さんとの出会いは2013年10月だった。横浜国
大大学院教育研究科の美術専攻の学生だった彼女は、卒業論文と卒業制作のアドバイスを希望して
いて、美術の分かる人にお話ししたいとのことだった。10月
に個展が終わったばかりの私と張さんは話が合った。
“猫”をテーマに制作する彼女のために、猫や虎を
主に描いている友人から資料の本を借り
てあげたりした。論文は国語検定1級の
彼女には殆ど問題はなかった。1月に私
の大学のOB会の展覧会のオープニング
パーティがあり卒業生の中国人や来客と
来てくれた張さんの話が弾み楽しげだった。



2月にアルバイトをしながら描き上げた彼女の作品展
が大奮の時期、横浜で開かれ主人と見に行つたが、R
KKからも萩原さんや布津さん、それに大勢のお客さん
が見えた。わたしの友人は彼女の作品を買い求めたが
そのまた友人も購入し合計3枚売れた。中国伝統の
絵画を研究していた彼女の絵は素敵で大成功になっ
た。彼女も大きな自信になり感激してい
た。門出という大事な時期に良い関わり
が持て私も友人達も嬉しかった。人の
輪の広がりと信頼は果てしない。次の
彼女の目標は私との2人展だそうだ。



北京に留学生を訪ねて

ファミリー交流グループ 徳屋英生

正月休みを利用して厳寒の北京を訪ね留学生と再会し
てきました。

彼女らは昨年1年間清華大学よりフェリス女学院大学
に交換留学生として来日し、RKK会員となり、私が1
年間日本語指導をした学生です。6か月の時の経過を
感じさせないほどスムーズに再会し、彼女の案内で大学
を見学しました。清華大学は1911年に設立され、北京大
学と並び称される中国最古、最高の学府です。その
構内の一部は清の清華園を踏襲しており、広大で池や
庭園が多くだいそうきれいなキャンパスでした。

学生数は4万人程度ですが中国人学生はすべて構内
の学生寮に起居し、授業は朝8時から夜10時まで(取得
する科目によって異なるが)図書館も夜10時まで閉館
し、いつも学生で一杯とのことと彼ら学生の勉強量の差

に驚きました。散策の後近くのレストランに行きました
が、ちょうどその日は学期末試験が終わり、春節を故郷
で過ごす前の学生が一杯で熱気にあふれていました。
活発な学生たちを見ていると中国の一層の発展が思わ
れました。

北京の後いくつかの都市を訪ねましたが、各地で種
子の良くわからない私達に
沢山の人が親切にしてくれ
ました。隣国同士の友好
な関係維持が叫ばれる今日
この頃、留学生との交流を
深め市民レベルでの友好増
進がますます必要だと痛感し
た旅でした。



ありがとうございました

先般、松井淨氏よりRKKの留学生支援活動の一助にと「よこはま夢ファンド」に
ご寄付が寄せられた旨、横浜市市民活動支援課よりご通知がありました。ありが
とございました。厚くお礼申し上げます。

留学生との交流

ちゅうごく にほん ぶんか
中国と日本の文化

日本文化は面白い



わたし
私は中国からまいりました。横浜国立大学教育学研究科 2年生です。去年の 7月30日に、羽磯さんと一緒に新横浜にあるスウェーデンの家庭用品店「イケア」に行きました。立派な建物で家具も様々ありました。その店であっちこち見ました。昼ご飯もスウェーデンの料理を羽磯さんと一緒に食べました。ご飯を食べながら、いろんな日本の

よこはまこくつだいがくきょういくけんきゅうか ぞうももち
中国 横浜国立大学教育学研究科 郷萌萌
事をおしゃべりしました。楽しかったです。そして 9月 24日に高島屋デパートでのユトリロ展を見に行きました。素敵なお絵をみながら、日本の文化や、日本画、浮世絵などの話をしました。大変勉強になり、日本に対して、日常生活だけでなく、日本文化もわかりました。面白いとおもいました。
3月12日記 (原文のまま)



きたらく はいせもこ
北地区 羽磯素子

郷 萌萌さんは1年8か月のおつきあいですが、途中私の怪我で萩原さんに日本語指導をお願いしましたが、彼女の専攻が美術系であったこともあり、私にとっても大変有意義な時間でした。私もラジオ講座で中国語を勉強したり、中国に興味を持つきっかけを頂きました。

中国人の彭丹(ホウタン)さんが日本語で書かれた「中国と茶碗と日本と」を読み、あらためて日本と中国との切っても切れないかわりを認識したりしました。
3月13日記



トピックス

しゅんせつばんかい さんか 春節晩会に参加して



逆さ福
(福倒一福来る(福倒)と同発音)

ちゅうごくがくせうかいしゅせつい いわ
中国学生会主催の春節のお祝い(春節晩会/1月29日)に大田理事長と共に参加しました。

いろいろと見聞しますが、中国の人々の春節への特別な思いを直に感じたパーティでした。パーティ写真でご覧のように、非常に多くの留学生が食事をとりながらの賑やかなものでした。

中国学生会の副会長で今回、司会をした陳海鋒さん、同じく副会長の張興偉さん等、RKK登録の留学生と歓談ができました。前記の陳さん、張さんはRKKニュース新年号に寄稿してくれました。

春節晩会には、来賓としてRKKを含め、神奈川県民局、日中友好協会、横浜華僑総会、中国人留

えんごかい こくさいこうりゅうざいだん
学生援護会、かながわ国際交流財団日中友好協会など10機関・団体が参加しました。

これら団体は“友好団体”が多いのですが、RKKのように日本語指導、社会・工場見学会などを通じて、留学生と直接交流、支援するボランティア団体は少ないようでした。(深水 記)



留学生のたより

しょうがっこう いんしょう 小学校の印象



にほん しょうがっこう たの ぼしよ 日本の小学校はきれいで楽しい場所

よこはまこくりつたいぎくびがくいんはくしから
NGUYEN MINH PHUONG 横浜国立大学大学院博士課程 (2007~2013) ベトナム



日本に留学した間、横浜市教育委員会の国際理解と
いうプログラムでパートの仕事をしました。5年間で横浜
市の約20小学校で自分の国のベトナムの事を子供たち
に話しました。本当に面白くて色々勉強になった仕事
だったと思います。

日本の小学校と言えば、まずは綺麗な外環のイメージ
だと思います。初めて働いた日は桜の満開のときでし
た。学校の門や校庭などに青い空の中ピンクで花びらが
飛びかのが可愛らしくて、一生忘れられない景色です。そし
て、四季で、花々を何種類も子供が植えて、学校の外環
が良くなります。興味になった花は一年生が夏休み前
に植える朝顔です。真似て、自分のアパートでも朝顔の
種から蒔いて、花が咲くまで楽しみました。

花だけじゃなくて、子供が手で作った物や描いた絵や
遠足の写真などはクラスや教室に貼って、様々な自分の
環境の特長を作ります。やはり、一年生から六年生まで
が描いた絵を見れば、成長差が分かります。私は小学
生のとき、図工などちょっとしかなく、教えられなかったで
すから、今ほとんど絵の描くのはぜんぜんだめで、残念
だと思います。しかし、多くの日本の小学生が「趣味はな

んですか?」と聞かれたら、「図工です」と答えます。すこ
いですね、日本の物作り精神は小学生からです。

子供のお勉強時間は楽しそうだと思います。宿題が少
なくて、評価のプレッシャがなく、体験や実験できる教科
が色々あります。子供たちはほとんど学校のことが好
きだと言います。先生方は結構子供たちに親切で、信頼
されて愛されています。

私の印象強くて、楽しい時間は給食です。一年生から
全部任せられて、びっくりしました。小さいのに全部できま
す。食べ物を取りに行ったり、配ったり、時間を守って綺麗
に全部食べます。掃除も毎日やります。あまった食べ
物があつたら、喧嘩にならないように、じゃんけんが決まりま
す。これはいい方法ですね。ベトナムにはじゃんけんもあり
ますが、遊ぶときに鬼を決める方法だけです。

毎年、送別会があって、いつも胸がいっぱいになり、感
動させられました。子どもが感想の発表して歌って、花や
手作りのお土産をいただいて離れたくないほど気持ちで
ました。私は小学校で働いた経験を生忘れません。是非
いずれか戻りたいと思います。そのとき桜が咲いたら
良いな。(原文のまま)

留学生の皆さんへ/For International Students

ボランティアの日本語個人指導を受けてみませんか!

RKK は下記の日本語指導 (Japanese Language Tutoring) を行っています。

- ・ 日常会話 (Daily Conversation) ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Thesis & Report)
- ・ 新聞/書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ その他に、工場見学 / 社会体験 ・ 留学生との交流イベント等を開催しています。

詳しくは、Home Page (Web site)

連絡先 (Contact) 津田 (tsuda)

RKK NPO 検索 を参照してください。

e-mail: sakura_tudakei@ybb.ne.jp

グループ活動だより

日本語指導グループ

日本語指導カブラッシュアップ講習会

— 中上級の学習者を教えるために知っておくべきいろいろなこと —



意欲的な受講生の熱気で好評でした

今年度のブラッシュアップ講習会が、2月11日(祝)、県民センターにて開かれました。今までで最も多い52人も参加者があり、外の厳しい寒さとは対照的に、教室内は意欲的な受講生の熱気で満たされているようでした。

講習の内容が今までのものより上級を目指していて、中上級の日本語学習者を指導するための知識や方法を学べるとあって、例年より広範囲から参加者を集められたのでしょう。一般の受講生が29人と、会員より6人も上回ったのも特徴的でした。これまで、有力新聞に記事が載った第2回を除いて、会員の方が数人多かったのです。

7月中、スタッフや会員が手分けして、市内と近郊の国際交流拠点にチラシを持参し、直接職員に宣伝をお願いしたのが功を奏したようです。講習の内容も、中上級者への指導向けとなると奥が深く、文法上の品詞に分類出来ない言葉の用法がある等、日本語の難しさに今更ながら気付かされるものでした。

アンケートの結果も、分かり易かった、とても役に立った、と好評でしたが、改善点として、内容の多さに比べ時間が不足気味だったので、時間を増やすか、2回位に分けて行ったら、とのご指摘も複数ありました。

回を重ねて定着して来たブラッシュアップ講習会を、皆様のご意見を参考に、ますます実り多いものに育てていきたいと願っております。

(日本語指導グループスタッフ 岩科 記)



● 講習会受講者の声 ●

テーマに興味がありました

湘南地区 角田久仁子

RKKの会員になって約2年、現在来日して約13年になる主婦を学習者として受け持っています。

その学習中の事、なかなか伝わりにくい言葉の表現が本当に伝わった時の喜びは格別です。お互いの納得が次への意欲にも繋がる様に思え、やはり講座を受けて良かったと感じる事もしばしばです。

日本語指導教師の資格を取得するには420時間という莫大な時間を要するとの事、RKKでの講習会では短時間で指導力をアップ出来るのでとても有意義な講座だと思っています。いつもテキストは分かり易く作成されていてし

かも重要な所はきちんと押えてあります。又今回は「中上級者を教えるため」と言うテーマでしたので更に興味がありました。しかし半日コースという事で時間的な制限がある様な気がし、もし可能なら半日コースを一日コースに検討して頂けると尚一層レベルアップが計れるのではないかと思います。

最後に、このブラッシュアップ「中上級学習者を教えるための講習会」を是非、今後も引き続き開催して頂ける事を願います。

グループ活動だより

日本語指導グループ

日本語指導を受けている留学生の声



RKK への参加は人生にとってとてもよい経験

日本語指導を受けて

よこはまこくりつだいがくだいがいんこくさいしゆかいがくくろくけいらいせいがせんこう 助 王 慧娟
横浜国立大学大学院国際社会科学府経営学専攻 王 慧娟

私は中国から来ました、日本に留学する前に、日本語はあまり話しませんでした。日本に来てから、一生懸命勉強し、日本語能力試験に合格しました。しかし、友達是中国の留学生ばかりですが、みんな普段中国語で交流しています。アルバイトの場所では、日本人は多いですが、忙しくて、しゃべる時間がなかなかありません。日本語は練習できないから、自分の日本語がだんだん悪く感じました。どうか何をしようかと悩んでいました、先輩がRKKを紹介し

てもらいました。そして、村田威雄さんが日本語指導の先生になりました。村田先生は日本語だけではなく、私の勉強、生活の悩みも聞いてもらいました。先日、オーケストラの演奏会も連れてくれました。私は初めて現場でオーケストラを聞き、すごく感動しました。RKKに参加して、人生にとってとてもよい経験だと思えます。これからも、RKKは多くイベントを開催し、豊かな留学生生活を迎えるように希望しています。(原文のまま)



私の日本語指導



改めて日本語の難しさを痛感

ちゅうおうちく こ 小牧和子

今私の指導している生徒さんの一人は中国出身の男性の留学生で、一年半程指導した後、昨年大学院に合格しました。教材は留学生の書いてきた論文や作文の他に、日本独特の表現を学びたいという本人の希望で朝日新聞のコラム「天声人語」を勉強しています。

初めに音読してもらい、アクセントや漢字の読み方を直し、分からない言葉の意味を説明します。努力家で何にでも興味を示し、時々思わぬ細かい質問をされ、納得のいくまで説明するのが大変な時

もあり、その度に改めて日本語の難しさを痛感しています。又、出来るだけ多く日常会話をし、その中でアクセントや言葉づかいを直していくことを心がけています。その学生は故郷の故郷、中国の歴史、日本でやりたいこと等熱心に話してくれ、会話が一時間以上に及ぶこともしばしばです。

時々「上達しましたね」とほめると目を輝かして「先生のお蔭です」といつも言うので、そんな時私の方が励まされ、もっと研鑽を積んで良き日本語の指導者を目指したいと思えます。

グループ活動だより

社会・工場見学グループ

RGL工場見学の感想(2月25日)



日本企業の技術の高さに感心
 RKKの見学に大変感謝な気持ちを持っております。とりわけ、主催の担当者深水様 一番苦労してきていただろう。ありがとうということをお伝えしたいと思います。先月(2月

25日)RGL会社の見学を参加させて頂きました。小さい会社なのに結構様々な技術を携わっています。私にとって一番存じているのはRGLの継手です。そして、面白いのはオゾン技術のことであります。大気中のオゾンは地球を保護しているということは存じておりますが他にいろいろなところに応用できることは知りませんでした。日本企業の技術の高さに感心しました。

日本の面白い技術はまだたくさんあると思います。しかし、その様々な技術を如何に製品化し、市場に売り込み、ユーザー

日本企業の技術の高さに感心

横浜国立大学大学院 堀 彦隆(中国)

が認められるか、そして企業の成長に繋がるのにかあたって、課題はまだたくさん存在している私の見方でありませぬ。現在の日本経営者は高い技術を持っていれば大丈夫だと思っておりますが市場の受入には比較的軽視する傾向が見られます。その点では特に中小企業が多く存在しております。私が工業製品における経験が浅いかもかもしれませんがそれは私の観点でした。

最後に、RKKの皆様はこの二年間の指導を頂き、誠にありがとうございました。とりわけ私の指導先生山崎康啓に感謝を申し上げます。(原文のまま)



国民生活センター見学感想(2月25日)

消費者問題を解決する仕組に関心



電気製品を買う時に、安全性の高い製品が欲しい。しかし、どんな会社のどんな形の製品がいいのか?どんな会社でも、自分の製品を強く進めるのだから。電気製品

売り場の係員に聞けば、一番高いものを紹介するかもしれない。こういう場合、やはり公正な立場を持っている公的な組織が必要である。国民生活センターはこのような消費者問題に関する日常生活のため、設置される独立行政法人である。つまり、国が自ら主体となつて直接に実施する必要のないものうち、民間の主体にゆだねた場合には必ずしも実施されないおそれがある場合を防ぐための仕組みである。

私の研究する内容は地域活性化なので、公的な組織と企業と消費者の連携にすごく関心を持っている。たとえば、市販電気ケトルの安全性を調査するため、国民センターが各社のさまざまなデザインの製品をテストを通し、欠点やその欠点によって隠された危険性が判明した時、企業側に情報を伝えて、製品の改善を要請する。そして、パンフレット

法政大学大学院 屈 博雄(中国)

を配り、またはホームページの掲載で、消費者にも注意を呼びかける。そうすると、生活上の安全性を引き上げながら、開発途中での中小企業にも非常に有効だと思う。もし、企業とのつながりがさらに緊密になれば、プラットフォームになって、地域活性化に役に立つと思う。

現在、消費者のニーズがわからない、商品の開発や経営計画が始まらない。しかし、それに対する調査は難度が高く、複雑なプロジェクトである。大手企業にとっては大変人力や資金を費やすので、中小企業にとってはさらに難しい。それに対して、国民生活センターが消費者からの苦情や情報を手に入れるので、つまり、データが保存されるということである。もし、それをきっかけと、企業がある製品の市場調査を国民センターに依頼を出せば、企業側にとっては大変助けとなる。そういう発想の理論的な可能性を研究し、これから、問題点と解決策を議論しようとする。

(原文のまま)



グループ活動だより

社会・工場見学グループ



RKK社会・工場見学会 50回を振り返って



社会・工場見学会は、1999年12月に第一回の見学会を開催し、神奈川県内を中心に見学会を実施してきました。本年度で15年目を迎え、2014年2月の見学会で50回を数えました。その間の見学会状況(概要)を振り返って、今後の見学会の糧にしたいと思えます。この15年間の見学会(概要)は下記のとおりであります。



見学先の種類・分野別(延べ数)

工場	51
公共施設等	16
研究・科学機関、博物館等	18
文化・旧跡等	17
金融機関等	2

見学会回数

見学先延べ数	104
名称別見学先数	80(重複を除く)

見学者数

	実参加者	申込者数
参加者総数	1,106(22.1)	1,334(26.7)
留学生	482(9.6)	663(13.3)
会員等	624(12.5)	671(13.4)

()内は1回平均の参加者数
*留学生と会員等との申込み数は近似であるが、留学生はキャンセルが多い

		留学生(人)	会員(人)	総数(人)
見学者時系列推移 (申込者数)	① 1999.12～2005.02 (17回)	237 (13.9)	188 (11.1)	425 (25.0)
	② 2005.08～2010.03 (17回)	243 (14.3)	238 (14.0)	481 (28.3)
	③ 2010.07～2014.02 (16回)	183 (11.4)	245 (15.3)	428 (26.7)

当初は、工場見学グループとして、企業の工場、公共施設(水再生処理場、発電所等)を中心に見学をしてきました。その後、平日に見学ができる文化施設、寺社や旧跡等を見学先に加え、それを機にグループ名を社会・工場見学グループに変更しました。さらに、最近では、東京も見学地域に加え、日本銀行、東京証券取引所等を見学し、文系留学生の希望に応えています。また、大企業の工場の

みならず、元気な中小企業の見学も、その経営者の講演等を加えれば、留学生にとって有益な勉強になると思われます。51回から、また気を新たに留学生に有益で、喜ばれる見学会を進めたいものであります。

これからも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。(社会・工場見学G 深水 記)

おもな活動 (2014/2~2014/4)

スタッフミーティング

◇3/21 午後、サポートセンターR1503 にて 23 人のスタッフの参加のもと、2013 年度第 4 回スタッフミーティングが行われ活動グループ、地区交流会、委員会それぞれの報告・連絡そして相談事項について話し合った。ディスカッションタイムには「RKK 創立 15 周年記念にあたって」についての情報の共有化と意見交換がなされた。



活動グループ

- ◇日本語指導 G: 2/11 の日本語指導カブラッシュアップ講習会には 52 人の受講者があり好評を得た。
- ◇ファミリー交流 G: 4/6 にこども自然公園にてお花見大会を開催。総勢 40 人が参加。
- ◇中国語学習 G: 3/15 から、12 人のメンバーで新たな期に入る。
- ◇社会・工場見学 G: 2/25 国民生活センターおよび(株)リガルジョイントを見学。20 人が参加。

地区交流会

- ◇東地区: 1/25 に地区交流会を実施。5 人が参加。スタッフ増強予定。
- ◇西地区: 1/26 に 15 人が参加し、地区交流会を実施。泉区チラシ展に出席しリクルート推進。
- ◇南地区: 2/2 に地区交流会実施。10 人参加。留学生のリクルートおよびマッチングを積極的に推進。
- ◇北地区: 3/15 に 7 人が参加、地区交流会を実施。

「みなくる」での活動 PR 展にパネル展示。

- ◇中央地区: 2/23 に 7 人が参加し、地区交流会を実施。横国大峰沢にて留学生のリクルートを推進。
- ◇湘南地区: 3/18 に交流会を藤沢にて実施。8 人が参加。新入会員が増加。

委員会

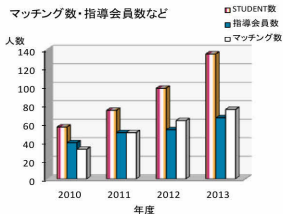
- ◇会員委員会: 3/21 マッチング検討会を実施。留学生窓口処理が迅速・的確となった。
- ◇広報委員会: RKK ニュース 55 号の編集および pdf 配信への移行。HP レイアウト、ロゴマークの検討。
- ◇企画委員会: 寄付・賛助金の提供を PR。
- ◇会計委員会: 1/21 決算検討会を実施。事業計画予算案立案。
- ◇事務室: 年会費徴収、事業計画案作成・総会議案書作成、総会準備

マッチング情報

- ・2010年度から、2013年度までの日本語指導状況の推移を図示しました。
- ・人数は、すべて延べ人数で数えた数です。(矢野 記)

年度	2010	2011	2012	2013
STUDENT数	56	74	98	135
指導会員数	39	50	53	66
マッチング数	32	50	63	75

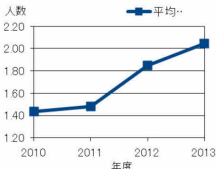
マッチング数・指導会員数など



- ・2010年度を底にして、RKKの日本語指導活動は拡大傾向に転じている。
- ・一方、指導する会員数は、2010年度より増加しているものの11年から12年では微増に留まり、会員が複数の留学生を指導するケースが多くなっている。(岩永 記)

年度	2010	2011	2012	2013
平均指導人数	1.44	1.48	1.85	2.05

平均指導人数の推移



- ・2013年度は、上記の傾向に拍車がかかり、会員の平均指導人数は2人に達している。
- ・指導会員数は増加傾向にあるが、さらなる増加が望まれる。(矢野 記)

地区からの便り

南地区交流会



チューター増員に向けて 積極的なPR活動をしていきたい

南地区 布津基大

南地区会員は現在 15 人で、留学生 26 人と交流致しております。3 月は学校の卒業式のシーズンである事からチューター個人々々から現在担当の留学生の現状及び今後の動向について説明が行われました。卒業後、帰国、就職、進学等で 10 人が終了となります。

4 月から留学生の新入生がやって来ます。その対応として、チューターの増員が必要である事から、区民活

動センターのイベントに参加し、RKK の PR 活動を行う準備をしておりましたが、前日の大雪で中止になり、後日に順延となりました。いずれにしても、ボランティア募集などではいろいろな広報、メディアの活用は欠かせませんし、今後共積極的な PR 活動をしていきたいと思っております。

よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした「よこはま夢ファンド」の制度があることをご存知でしょうか。

このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援して頂きます。ご協力をお願いします。

税制上の優遇措置など詳細は「よこはま夢ファンド」で検索して当該のホームページをご覧ください。（企画委員会）



＊ ＊ ＊ ホームページをお訪ねください ＊ ＊ ＊

ホームページは随時更新しており、「会員の広場」も開設致しました。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。

掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ : <http://homepage3.nifty.com/rkk/>

広報委員会では皆様からの広場への寄稿をお待ちしております。

新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

入会正会員：前田六生（戸塚区）、大山彩華（藤沢市）、二川町子（神奈川区）、金井大悟（鶴見区）
川井由里子（泉区）、坪井弘喜（藤沢市）宇城かおり（藤沢市）京野忠（泉区）
秋元大輔（藤沢市）

賛助会員のみなさまへ：ご支援ありがとうございます。

賛助会員：齋藤興二、周亜萍、深田昌子（敬称略）

RKKニュース紙配布の大半をPDF配信に切り替えました

RKK ニュースの発行コスト低減、品質向上の観点から、e-mailアドレスをお持ちの方には、メール添付PDFで配信する方法に切り替えるため、e-mailで皆様にご相談致しました。

ご了解を頂いた会員、留學生の皆様は RKK ニュース 54号からこの方法による配信に変更し、約200通のメール便発送件数が削減できました。PDF 配信する事により、留学を終えて日本で就職された方、或いは帰国

し自国で活躍されている方、その他RKK 会員と交流が続けている留學生卒業生の皆さんにも配信する事が可能になりました。

会員の皆様で、交流のあった元留學生などに RKK ニュースを送りたい方がいらっしゃいましたら、氏名、国籍、e-mail アドレス、備考をお知らせください。広報委員会から、国際パートナーという位置づけで、PDF 配信を行います。



PDF 配信へのコメントとしては次のようなメッセージを頂いております

韓国 柳 仁周さんより

Hello Thank you very much for your kind attention.I am very glad to receive your newsletter and wish for abundant success within RKK.I am working in the Incheon International airport as a customs officer and should you visit Korea, I would be very happy to get in touch with you. Yours respectfully,Yu In Joo

ペルー Jose Antonio Castelo Vegaさんより

Dear RKK members: Thanks for your continuous help to the foreign community in Japan. Please start sending me the PDF format of RKK news from now on.Thanks Best Regards,

中国 張 岩さんより

您发给我的信件已经收到，谢谢。

あなたが送信してくれたメールは既に受領しています。ありがとうございます。

中国 王 丹さんより

ご来信ありがとうございます。去年の四月にもう日本を離れました。帰った時忙しいから、連絡が取れず申し訳ないです。これからこれらのメールでRKKのニュースを受ければ嬉しいです。これからもよろしくお願いします。(原文のまま)

また一方で、RKK活動に関連する団体、個人の皆様宛に RKK ニュース紙の送付を拡大していき努力をして参ります。 広報委員会 西岡 記

NPO法人 留學生と語り合う会

連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール：rkki1025office@yahoo.co.jp Tel & fax 045-813-8327

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/rkk/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 番号担当 杉田慶子 April 24, 2014